

自立支援部だより

～みんなで考えよう 特別支援教育の専門性～

2024年5月22日 第1号
むこがわ特別支援学校

「アセスメント」と「発達のみちすじ」について

昨年度より、小学部では「KIDS（キッズ）乳幼児発達スケール」、中高等部では「S-M 社会生活能力検査」を使い、アセスメントをしています。また、療育手帳の更新時や療育の場でも「新版K式発達検査」や「WISC-IV」（ウィスク）などをすることがあり専門の方が検査をしてくださるので、結果と意見書などを学校に提出してもらい支援につなげています。（学校以外で行った発達検査の結果については、個別の教育支援計画にも記入欄があります。）

「アセスメント」とは、子どもに適した教育や支援の在り方を導き出すために、子どもについての情報を集めて子どもを理解するプロセスです。日常生活や学習場面での子どもの行動を観察することもアセスメントの一つですが、標準化された発達検査を利用したアセスメントは、児童生徒を客観的に評価することができるため、実態把握や支援につなげる大事な要素です。

知能検査の代表的なものとして、ウェクスラー式やビネー式の検査があります。知能検査は、主に物事の理解、知識、課題を解決する力といった、認知能力を測定するための心理検査の一つで検査結果は精神年齢(Mental Age:MA)や知能指数(Intelligence Quotient:IQ)で示されます。

発達検査とは、新版K式発達検査やKIDSやS-Mなど、子どもの社会性や姿勢・運動の発達、認知、言語などのさまざまな領域の発達度合いを測っていきます。結果は発達年齢(Developmental Age:DA)や発達指数(Developmental Quotient:DQ)で示されます。

【アセスメントをすることで】

- 子どもの特性や得意・不得意がわかる。
- 発達のみちすじがわかり、日々の支援に役立つ。

【アセスメントの紹介】

(1) KIDS 乳幼児発達スケール (0歳1ヶ月～6歳11ヶ月)

「運動、操作、理解言語、表出言語、概念、対子ども社会性、対成人社会性、しつけ、食事」の領域がある。約130項目からなる質問について、日頃の行動をもとに○×で回答する。総合発達年齢(DA)を生活年齢(CA)で割ると総合発達指数(DQ)がわかる。

➡裏につづく

- (2) S-M 社会生活能力検査 (1歳～13歳 *13歳以上にも適応できる)
「身辺自立、移動、作業、コミュニケーション、集団参加、自己統制」の領域がある。
領域別に社会生活年齢(SA)を生活年齢(CA)で割ると社会生活指数(SQ)が出て、子どもの特徴がわかる。項目別に○(できる・ほとんどできる)、×(できない・あまりできない)で回答する。
- (3) 新版K式発達検査2001(*2020年に2020版が刊行された) 0歳～成人
「全領域」「運動・姿勢 P-M」「認知・適応 C-A」「言語・社会 L-S」の領域がある。
発達年齢 DA と発達指数 DQ から同年齢の子どもに対する、子どもの心身の発達の状態がわかる。課題が分かれているので得意・不得意がわかりやすい。
- (4) WISC-IV(*日本版 WISC-V が 2022 年に刊行された) 5歳0ヶ月～16歳11ヶ月
一般的に使われる知能検査。全検査 IQ(FSIQ)と4つの指標≪言語理解(VCI)、知覚推理(PRI)、ワーキングメモリー(WMI)、処理速度(PSI)≫が算出される。全検査 IQ 平均を 100 とし、数値が高いほど知能が高く、低いほど知能が低い。

【発達のみちすじについて】

赤ちゃんが運動面や言葉などに関して発達していくのを思い浮かべると、だいたいどのような順序で成長していくのでしょうか？イメージを持つことができますか？

例えば、(片足ケンケンはいつ頃？⇒3～3歳半頃)(2語文はいつ頃？⇒2歳頃)(色や形の分類は？⇒3歳頃)などだいたいの目安があります。しかし、子どもはひとりひとり異なる資質や特性を有しており、その成長には個人差がある一方、子どもの発達のみちすじやその順序性において、共通して見られる特徴があります。特に障害を持った子どもの成長には、でこぼこがあり、らせん状に成長していく中で、以前できなかったことが少しずつできるようになることもあります。

参考におおよその発達段階表を学年会で配ります。「運動・姿勢」「日常生活スキル」「社会性」「言葉」「絵」について、クラス子ども達はどのあたりができていて、次の課題(成長の目安)はどのあたりか考えてみてください。必ずしもというものではありませんが、支援者が発達のみちすじを知って子どもの成長を見守り、日々の取り組みや学習の中で課題意識を持って支援をしていくことは大切なことです。

☆お知らせ☆ 教材・本の貸し出しについて

教材や本の貸し出しをしています。

場所は、教育相談室です。本は入ってすぐ右側のロッカー上と教材は入って奥の右棚に置いています。

★貸し出し簿に記入の上、借りて活用してください。

本の紹介*機能的アセスメント(行動のとらえ方)

の本です。新版 K 式の手引書なども置いています。

